

■ 校正マーク

JCSS	このマークのある製品はJCSS校正対応品です。
校正対応	このマークのある製品はトレーサビリティ校正対応品です。

■ 無線機器について

- ・本総合カタログに掲載している製品は日本国内専用です。海外でのご使用はできません。
- ・電波の通信状況は環境によって変動します。
電波状況を確認したときに状態が良好でも通信を保証するものではありません。周囲の環境等の変化により通信が失敗することがあります。

■ 保護等級（防水性能）について

- ・水に対する保護等級 要約と定義（JIS C 60529 抜粋）

1	鉛直に落下する水滴に対して保護する。	鉛直に落下する水滴によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
2	15度以内で傾斜しても鉛直に落下する水滴に対して保護する。	外郭が鉛直に対して両側に15度以内で傾斜したとき、鉛直に落下する水滴によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
3	散水に対して保護する。	鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
4	水の飛まつに対して保護する。	あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼしてはならない。
5	噴流に対して保護する。	あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
6	暴噴流に対して保護する。	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
7	水に浸しても影響がないように保護する。	規定の圧力及び時間で外郭を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の浸入があってはならない。

- ・JIS C 60529は、これまで使用されてきたJIS C 0920に代わり制定された規格であり、国際規格IEC 60529と同一内容のIPコード規格です。

■ 商標について

- ・Apple、Appleロゴ、iPad、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・Android、Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLC.の商標または登録商標です。
- ・BluetoothはBluetooth SIGの登録商標です。
- ・Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

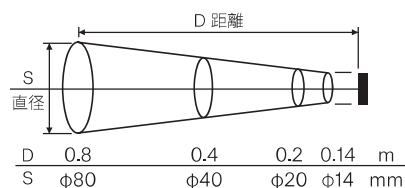
■ 放射温度計の機種選定について

- ・放射温度計をご使用になる際は、以下のことにご留意のうえ機種をご選定ください

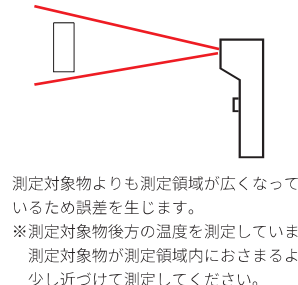
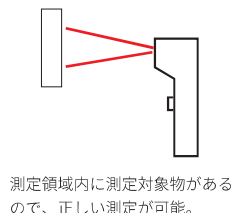
1. 温度範囲 測定対象物の温度に合わせた測定範囲のものを選んでください。
弊社では-60～1550℃まで幅広く対応しています。
2. 距離係数 測定対象物との距離はどれくらいですか？
放射温度計は、機種ごとに距離係数が決まっています。距離係数とは、測定距離（D）と測定領域直径（S）の比率です。
この2つは正比例の関係のため、測定対象物までの距離が離れれば測定領域直径が大きくなることになります。
また、表示される温度は測定領域内の「平均温度」です。測定対象物が測定領域内におさまっているかを必ずご確認ください。

●例 D：S＝10：1の場合

測定領域は、測定距離によって下図のように変化します。



●表示温度は「平均温度」



3. 放射率 測定対象物ごとに放射率の設定が必要です。
すべての物体は赤外線を放射しており、その赤外線の量は物体の材質や表面状態などによって異なります。
放射温度計で温度を測る際は、測定対象物に合わせた放射率に設定することが必要です。
放射温度計には、放射率が固定のものと、放射率が変えられるものとがありますので、測定対象物に合わせてご選定ください。



放射率表はこちら

■ PSCマークについて



弊社のレーザー付赤外線放射温度計は、クラス2レーザー製品（JIS C 6802）に準拠し、JQAによる適合性検査に合格したPSCマーク付き製品です。PSCマークは、消費生活用製品安全法（携帯用レーザー応用装置）に適合していることを表すマークです。クラス2レーザー製品とは、「可視光（波長400nm～700nm）で人体の防御反応により障害を回避し得る程度の出力以下（概ね1mW以下）のもの」と規定されています。